

外来診療担当表

令和5年1月1日現在
 〈受付時間〉午前8:00～11:30 午後1:30～4:00
 ※診療科によって一部異なります

診療科		月	火	水	木	金	土
内科 ◆土曜日受付 8:30～11:30	午前	角田・松尾 森下・金澤	南家・横道 筒井 応援医師	角田・松尾 森下・長澤 応援医師	角田・上原 金澤 応援医師	南家・横道 松尾 東北大医師 応援医師	応援医師
	午後	横道・筒井	角田	長澤	東北大医師	応援医師	—
小児科 ※1 第3火曜日午後休診 ※2 第1・3金曜日休診 ◆発達相談予約制	午前	岩城	岩城	岩城	岩城	岩城(※2)	—
	午後	岩城	岩城(※1)	岩城	—	岩城(※2)	—
外科	午前	大槻・芳賀 東北大医師	大槻・松本 東北大医師	大槻・芳賀 東北大医師	大槻・松本 応援医師	大槻・芳賀 応援医師	—
	午後	—	—	—	—	—	—
整形外科 ◆初診受付 8:00～10:30(紹介状必要) ◆再来受付 8:00～11:00(予約制)	午前	田中	東北大医師	東北大医師	田中	田中	—
	午後	—	—	—	—	—	—
婦人科 ※3 午後予約制	午前	相良	相良	相良	相良	相良	—
	午後	相良(※3)	相良(※3)	相良(※3)	—	相良(※3)	—
耳鼻いんこう科	午前	—	—	—	—	—	—
	午後	東北大医師	—	—	東北大医師	—	—
眼科 ◆受付時間 8:00～11:00	午前	東北大医師	—	東北大医師	—	—	—
	午後	—	—	—	—	—	—
皮膚科	午前	—	応援医師	—	—	応援医師	—
	午後	—	—	—	—	—	—
泌尿器科 ※4 第1・3・5金曜日休診	午前	田口	田口	田口	田口	田口(※4)	—
	午後	田口	—	田口	—	田口(※4)	—

※入院患者さんの急変や、医師の出張等により変更になる場合もありますので、院内掲示版やホームページ等でご確認ください。
 ※土曜午後・日・祝祭日は、全科休診です。急患はこの限りではありませんので、お電話にてお問合せください。

公益社団法人 地域医療振興協会
公立黒川病院
 〒981-3682 宮城県黒川郡大和町吉岡字西松木60
 代表 TEL:022-345-3101 FAX:022-345-3143
 地域連携室 TEL:022-745-2444 FAX:022-345-3120



緑風

Vol.29
 Jan 2023

すべては地域のみなさまのために
公立黒川病院だより
 発行：公立黒川病院
 地域連携センター 地域連携室



巻頭言：「志村けん」さん名言集

公立黒川病院 管理者 角田 浩

令和2年3月29日、志村けんさんは、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に伴う肺炎の為に亡くなりになりました。子供の頃にはホントにお世話になりました。当時、びっくりしたし、とても悲しく、残念な気持ちになりました。

改めて、志村けんさんについて書かれたものを読むと、しみじみ感じるものがあります。

志村けんさんの名言と思われる言葉を紹介し、私の思いを添えたいと思います。

志村けんさん 名言1

天才なんていないんだよ。強いて言えば努力し続けられる人間が天才なんだ。

— 医療の現場は目立たない、たくさんの人の努力で成り立っています。どの業界でも「継続は力なり」でしょうが、この業界で長く努力し続けている人は確かに「天才」かもしれません。

志村けんさん 名言2

ホメ言葉は重要なコミュニケーションだ。
 — 最近、経営、運営がうまくいっている病院の院長先生の講演を聞くことがあります。ほぼ例外なく、職員をほめるのが上手だなあと感じます。

志村けんさん 名言3

笑いがなければ人は生きられない。だから僕は笑いを大事にしたい。

— 動物の中で人だけが笑う能力があると聞いています。怒りながら笑えません。不愉快になりながら笑えません。笑顔の人生をおくりたいですね。

志村けんさん 名言4

ドリフのすごいところは、「一人がウケたらそれは5人全員がウケたことと一緒にだ」と皆が考えていたことなんだ。

— これはほんとに素晴らしいと思いました。患者さんがよくなってスタッフの誰かに感謝してくれたとしたとき、それをスタッフみんなが感謝されたことと一緒にだと思える文化が醸成されていたとしたらそれはとてもよい病院だと思いました。

志村けんさん 名言5

結局道は自分で開いていくしかない、普段から何かをやり続けているから、誰かの目にとまって、声をかけられるんだ。
 — 努力を続け、成功された方の重い一言。ただただ合掌。

志村けんさんはじめ世の中のたくさんの偉人にならない、今年も少しでも地域に貢献し、自然に他の医療機関と良好な連携できる病院を目指し、努力し続ける所存です。

今年も公立黒川病院をよろしく願いいたします。

着任のご挨拶



外科医師 芳賀 泉

令和4年10月1日より、公立黒川病院に診療部長として着任いたしました、芳賀 泉と申します。宮城県仙台市の出身で、平成2年に東北大学を卒業し、青森県の八戸市民病院で外科研修医として医師のスタートをしました。平成5年に東北大学第二外科（現総合外科）に入局し、臓器移植の研究をするとともに、外科医としての修練を行ってまいりました。その後、宮城県・岩手県・秋田県と東北各地の市中病院で一般外科医として勤務し、平成15年から当院に赴任するまでの19年間、仙台市の独立行政法人地域医療機能推進機構仙台病院で一般外科および腎移植医療に携わってまいりました。

今回、ご縁がありまして公立黒川病院外科に勤務することとなりました。前勤務地では、慢性腎臓病等を基礎疾患とする全身状態が決して良くない患者への治療を多く経験し、それなりの対応ができる度胸のようなものがついていたと考えています。その反面、専門化した環境に長くいたために、地域市中病院で行う医療の勤が若干鈍っているかもしれませんが、地域医療に貢献できますよう努めてまいります。

また、宮城県人ではありますが、当地域にはあまりお邪魔したことがありませんでした。これからできる限り周辺を散策し、いろいろな発見をしたいと考えています。

地域の皆様のご協力をいただき、当地域に安全・安心の医療を提供できますよう励んでまいります。よろしくお願いたします。

病棟紹介

一般急性期病棟 2病棟

2病棟師長 伊藤 公恵

一般急性期病棟は、内科・外科・整形外科・泌尿器科・婦人科の5科で、点滴治療や手術治療、内服薬の調整、がん終末期の疼痛コントロールなどを行い、患者様が安心して治療が受けられるよう、安全な医療や看護を提供しています。また、入院中の合併症予防にも積極的に努めています。

入院する患者様の8割は、65歳以上であり患者様一人ひとりが住み慣れた地域で生活ができるよう、入院時より早期退院に向け、患者様やご家族様の意向を尊重し退院支援も行っています。退院支援を行う中では、患者様の残存機能とADL状況の把握が必須です。その中でも栄養と排泄に関する問題が多くあります。栄養では、患者様の食思や嚥下機能の評価が重要であり、そして排泄は入院前の状況と変わることが少なくありません。そのため週1回のカンファレンスを確実にし、多職種で情報を共有しています。

退院に関し、急性期治療が一段落し、急性期病棟から直接退院となるケースもありますが、リハビリや退院調整が必要となる場合は、地域包括ケア病棟や回復期リハビリ病棟に転棟します。

黒川圏域における急性期治療を行うため、そして時代の流れに沿った医療や看護を提供することができるよう、多職種の連携やコミュニケーションを強化し、今後も知識の向上と技術の習得に努めていきたいと思っております。



地域包括ケア病棟 1病棟

1病棟師長 佐々木 多恵子

地域包括ケア病棟は、急性期の治療後、回復に不安のある患者さんを受け入れ、安心して自宅や施設で暮らせるまでの橋渡しを行います。

当院または他の病院で専門的な治療・手術をした方、自宅等で入院が必要となった方が、医学的な治療に加え、リハビリや看護師等のサポートにより、再び自宅等に復帰できるようお手伝いする病棟です。それぞれに対象や治療方法が異なることから、入院が必要となった方の病状により、主治医が判断し適した病棟での治療をご提案致します。入院から退院まで多職種スタッフが一丸となって支援いたします。住み慣れた故郷にある黒川病院で在宅の復帰を目指しましょう。

地域包括ケア病棟の特徴

- ・他の病院で高度で専門的な治療・手術を受けた後、早期に退院後の生活復帰を目指した入院が可能です。
- ・医学的治療やケア、リハビリ、栄養指導、薬の調整などに加え、地域のケアマネージャーや多職種と連携し、退院後の生活の準備を同時並行で進めていきます。

回復期リハビリテーション病棟 3病棟

3病棟師長 和賀 明美

回復期リハビリテーション病棟は、2004年に介護保険と同時期に制度化されました。

目的はADLを向上して寝たきりを防止し、在宅復帰を促進するというものです。入院してくる患者さんは大きく分けて脳血管疾患や大腿骨頸部骨折、人工関節置換後などの整形外科疾患、更に外科手術後など安静臥床に伴う廃用症候群となります。急性期から引き継いだ患者さんの機能回復や、ADL及びIADLの向上を図り在宅生活へ移行する重要な役割を担います。ですので、必然的に高齢者の割合が高く、当病棟も入院中の年代で、一番多いのが、80歳代となっています。しか

- ・内科、外科、整形外科、泌尿器科、婦人科、リハビリテーション科と幅広い疾患に対応することが可能です。
- ・当院には、訪問診療や訪問看護、訪問リハビリ、通所リハビリなど在宅支援チームがあり、退院後も黒川圏域での在宅生活が継続できるよう域内の他事業所と連携してサポートしていくことが可能です。
- ・清潔ケアや排泄ケアなど看護師、介護福祉士による質の高い看護、介護を提供します。

対象となる方

1. 他の病院で高度で専門的な治療・手術を受けた後、引き続き経過観察やリハビリテーション、在宅復帰支援が必要な方
2. 在宅や施設で生活していてもけがや病気により入院が必要となった方
3. その他、地域包括ケア病棟で受け入れが可能な疾患の方
4. レスパイト入院

入院期間

地域包括ケア病棟の入院期間は、病気やお体の状態によって異なりますが最大でも60日間が限度となっています。

対象となる患者さんがいましたら是非ご紹介ください。

し最近では40歳代から60歳代の働き盛りの年代が、増えて来ている現状もあります。予期せぬ事故や疾患の発症により、突然出来ていた事が出来なくなるという現実、戸惑いや不安を強くします。私達、回復期リハビリテーション病棟のスタッフは、日々のリハビリ、ケアの中で、常に患者さんだけでなく、その家族の思いにも寄り添っていく事が重要です。生活を再構築するための、多岐にわたる退院支援は多職種で連携し、情報を共有しています。

患者さんのこれまでの生活形態、現在、そしてこれからの未来を統合し、生活の再構築に関わる専門職が、専門的な視点で協働していけるように、地域の皆様との連携強化に向け努力してまいります。